

臨床検査科支部会報 ピペッツVol. 23

2003年8月30日発行

編集委員 清水のぞみ 宮地なぎさ

河内 佳子 山上 宣克

編集発行 川崎医療短期大学同窓会（松丘会）

臨床検査科支部

〒701-0194 倉敷市松島316番地

TEL 086-462-1111（内3025）

印刷 西日本法規出版(株)

臨床検査の現状と将来—学生および同窓生に望むこと—

川崎医科大学検査診断学教授
同附属病院中央検査部部长
川崎医療短期大学臨床検査科教授
通山 薫

近年わが国の医療情勢は大きく変貌しつつあります。個々の患者様を目の前にした医療はあくまでも患者様の生命とQOLの向上を主体にするべきですが、医療社会全体の流れは経済的な圧迫を余儀なくされています。さらに例を見ない高齢化社会の到来と疾病構造の変化、医療技術の進歩に伴う高額医療と疾病の重篤化、院内感染や新興感染症・再興感染症の問題、ゲノム科学に象徴される生命科学や医学情報の普及と氾濫、一般社会の生命観の多様化や医療に対する要望の高度化・多岐化など、病院を取り巻く情勢は厳しく、かつ複雑であります。

私たちが関わっている臨床検査、そして検査部門は、これらの情勢の波風をまともに受けています。とくに特定機能病院を対象に始まった入院医療包括制度は、かつて出来高払い方式のときには病院内の高収益部門であった臨床検査業務を、一気にコスト消費業務へと変容させてしまうことになりました。これが他の病院にも拡大されるのは時間の問題です。

さて包括医療時代を迎えて、私たち臨床検査に携わる者が考えなければならないことは、次の2点に集約されると思います。1点目はひとつひとつの臨床検査を今まで以上に大切に扱わなければならないということ、2点目は診療側から本当に信頼され求められる検査技師であり、検査部でなければならないということです。世に臨床検査は数千項目あると言われていますが、今後は項目間での淘汰が進み、真に有用性の高い検査項目だけが生き残ることでしょう。当然オーダーしてくる診療側は検査項目を厳選すべきですし、それを受ける私たち検査側は検査についての十二分な知識と技量を備えておき、日々精度管理を怠らず、そして選ばれた検査を大切に施行することによって初めて正しく対応できます。ルーチン検査を大切に確実に、かつ迅速に行うことが基本です。

診療側から求められる臨床検査技師像とはどのようなものなのでしょう？国家資格に裏付けられた技術専門職ですから、プロフェッショナルとして専門的知識・技量を持っていることが第一です。ただし現代医学は途方もなく莫大な知識と情報の集大成ですから、臨床検査領域も一人の技師でこれをすべて把握し実行するのは到底不可能です。基本的な知識と技量は各自必要ですが、それを超える範囲については個人でなく技師集団としてカバーできればよいのです。言い換えれば検査部全体としてはオールマイ

ティであってほしいということです。検査部が保持する膨大な検査データベース・検査情報は、たとえば薬剤部がそうであるべきなのと同様、病院の中における知的・技術的財産であり、その内容を管理し、適切に公開する責務があります。ルーチン検査が基本だと前述しました。しかしそれだけにとどまらず、検査情報を有機的に統合して、付加価値のある１ランク上のデータを診療側へ提供したいものです。ただし検査部の独りよがりであってはなりません。診療側がどんなデータを、どんな情報を欲しているかを敏感に察知する能力（触覚？嗅覚？）を備え、それに応答して結果を出すことによって、診療側の大きな信頼を勝ち得ることができるでしょう。

短大臨床検査科の受験生に入試面接をする際に「あなたはどのようにして臨床検査技師になりたいのですか？」と尋ねると、「病院の中ではあまり目立たない、縁の下のような立場だが、医療を行ううえで大切な仕事だから」などという返答がしばしば聞かれます。とても立派な動機だと思います。でも私は学生さん達に、そして既に技師になった方達に申し上げたい、「病院の中でもっと目立って下さい」と。ベッドサイド検査があれば病棟へ外来へと積極的に出向き、院内感染対策チームの一員となり、血液カンファレンスでは指導的発言をし、糖尿病教室では患者様にわかりやすく説明してさし上げる、あるいは診療現場で納得のいかないことがあれば医師や看護婦と大いにやり合う、これら眼に見える活躍を（悪い点で目立ってもらっては困りますが…）どんどんしてほしいのです。検査部長はそのための根回しをしたり、ときに技師をそそのかしたりしますが、実際に活躍するのは技師自らであります。

患者様に最も近いのは看護婦さんでしょうね。一方検査結果に最も近いのは臨床検査技師のはずです。病気の第一発見者になることもしばしばあるでしょう。ぜひ臨床検査技師としての自負とプロ意識と、そしてサービス精神をもって仕事に向かっていただきたいと思います。



松丘会臨床検査科支部 平成15年度 第1回代表者会資料

日 時：平成15年5月31日（土）

場 所：川崎医療短期大学 体育館1階講義室

議題1. 平成14年度事業報告

- 1) 学生との交流会
ボーリング大会および学生との交流会
- 2) 国家試験対策（H15. 2）
- 3) PIPETTS の出版について（22号）
- 4) 中四国学会時の同窓会の開催（徳島支部）
- 5) 同窓会ホームページについて
- 6) 各期の同窓会開催への援助（1～4期合同、25期、26期）
- 7) その他

議題2. 平成14年度決算報告

資料参照

議題3. 平成15年度事業計画

- 1) 学生との交流会
ボーリング大会および学生との交流会
- 2) 国家試験対策
- 3) PIPETTS の出版について（23、24号）
- 4) 中四国学会時の同窓会の開催（岡山支部）
- 5) 同窓会ホームページについて
- 6) 各期の同窓会開催への援助
- 7) その他

議題4. 平成15年度予算案

資料参照

議題5. 報告事項

- 役員交代（資料参照）
 - ・新規：28期生代議員一代表者：中原、本部役員：木原
- 短大より
- その他

議題6. 意見交換

川崎医療短期大学（松丘会）臨床検査科支部 会計報告（14年度）

自 平成14年4月1日
至 平成15年3月31日

（収入の部）

項 目	予算額	収入額	差 異	摘 要
入会金	265,000	300,000	△35,000	27期生未納分（8名）+28期生（52名）
同窓会費	485,800	643,000	△157,200	
新入会費	265,000	300,000	△35,000	27期生未納分（8名）+28期生（52名）
10年会費	220,800	343,000	△122,200	5期生（6名）6期生（12名）7期生（11名）×7,000円 15期生（8名）16期生（8名）17期生（12名）×5,000円
助成金（本部より）	170,000	170,000	0	
寄付金	0	0	0	
預金利子	500	15	△485	
雑収入	0	30,584	△30,584	ボーリング大会残金、ボールペン代
前期繰越金	1,044,663	1,044,663	0	
収入合計	1,965,963	2,188,262	△222,299	

（支出の部）

項 目	予算額	支出額	差 異	摘 要
会議運営費	290,000	49,386	240,614	
代表者会運営費	100,000	20,406	79,594	1回
理事会運営費	70,000	16,120	53,880	1回
部局会運営費	70,000	12,860	57,140	事務（1回）、学術企画（2回）、 組織編集（1回）
各種委員会費	50,000	0	50,000	
事務費	340,000	17,647	322,353	
通信費	200,000	10,240	189,760	切手、ハガキ
消耗品費	100,000	3,667	96,333	ラベル用紙、フロップピー、ファ イル
振込手数料	10,000	3,740	6,260	郵便振込手数料
印刷費	30,000	0	30,000	
会誌発行費	700,000	342,000	358,000	ビベッツ22号
印刷費	400,000	224,280	175,720	
発送費	300,000	117,720	182,280	
慶弔費	30,000	23,100	6,900	記念品代
援助金	350,000	280,438	69,562	
卒業時援助金	30,000	30,000	0	
各期援助金	75,000	90,000	△15,000	1～4期合同、25期生、26期生
地域支部援助金	45,000	15,000	30,000	中四学会時同窓会（徳島）
在校生援助金	200,000	145,438	54,562	ボーリング大会、国家試験対 策、国家試験対策参考図書
旅費交通費	50,000	0	50,000	
雑費	50,000	0	50,000	
積立金特別会計繰出	50,000	50,000	0	
予備費	105,963	0	105,963	
支出合計	1,965,963	762,571	1,203,392	

収入合計－支出合計 1,425,691

積立金特別会計（収入の部）

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	摘 要
一般会計からの繰入金	50,000	50,000	0	30周年記念事業
前期繰越金	100,000	50,000	50,000	
合計	150,000	100,000	50,000	

積立金特別会計（支出の部）

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	摘 要
一般会計への繰出金	0	0	0	
合計	0	0	0	

川崎医療短期大学（松丘会）臨床検査科支部 平成15年度予算案

自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日

（収入の部）

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	摘 要
入会金	320,000	265,000	55,000	5000×64名（29期）
同窓会費	594,800	485,800	109,000	
新入会費	320,000	265,000	55,000	5000×64名（29期）
10年会費	274,800	220,800	54,000	（8期56名×7,000円、18期59名×5,000円）×0.4
助成金（本部より）	170,000	170,000	0	
寄付金	0	0	0	
預金利子	500	500	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	1,425,691	1,044,663	381,028	
収入合計	2,510,991	1,965,963	545,028	

（支出の部）

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	摘 要
会議運営費	290,000	290,000	0	
代表者会運営費	100,000	100,000	0	
理事会運営費	70,000	70,000	0	
部局会運営費	70,000	70,000	0	
各種委員会費	50,000	50,000	0	
事務費	340,000	340,000	0	
通信費	200,000	200,000	0	振込み用紙、他
消耗品費	100,000	100,000	0	
振込手数料	10,000	10,000	0	
印刷費	30,000	30,000	0	
会誌発行費	900,000	700,000	200,000	
印刷費	600,000	400,000	200,000	ビベッツ23号、24号
発送費	300,000	300,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	
援助金	425,000	350,000	75,000	
卒業時援助金	30,000	30,000	0	29期生
各期援助金	150,000	75,000	75,000	
地域支部援助金	45,000	45,000	0	
在校生援助金	200,000	200,000	0	ボーリング大会、国試対策
旅費交通費	50,000	50,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	金庫
積立金特別会計繰出金	50,000	50,000	0	
予備費	375,991	105,963	270,028	
支出合計	2,510,991	1,965,963	545,028	

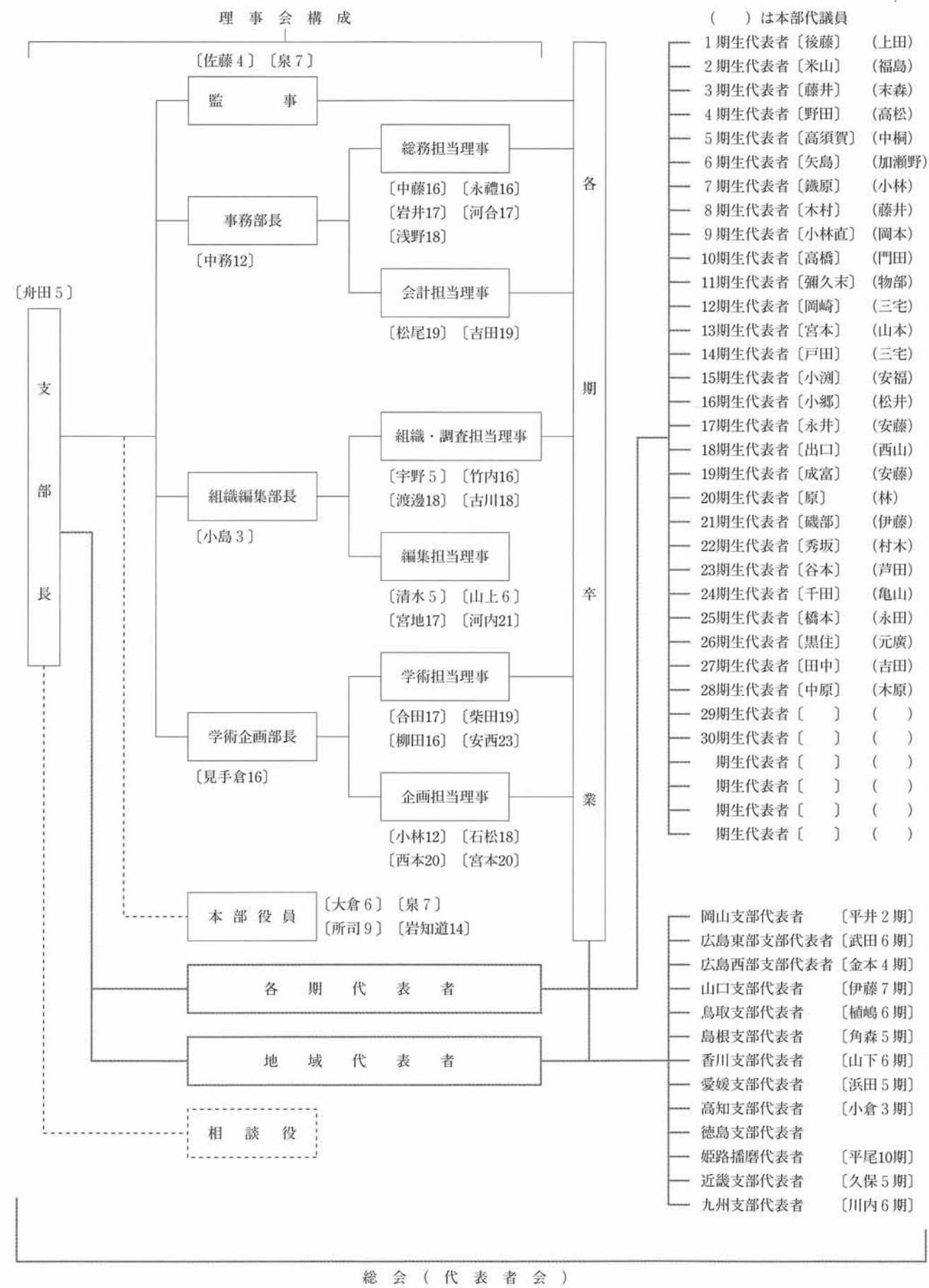
積立金特別会計（収入の部）

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	摘 要
一般会計からの繰入金	50,000	50,000	0	30周年記念事業
前期繰越金	150,000	100,000	50,000	
合計	200,000	150,000	50,000	

積立金特別会計（支出の部）

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	摘 要
一般会計への繰出金	0	0	0	
合計	0	0	0	

臨床検査科 組織運営図 (平成15年4月1日現在)



短大・臨床検査科だより

川崎医療短期大学では今回から入学試験を年4回に増加しました。第1回目は特別推薦入学試験、第2回目は推薦入学試験、第3回目は一般入学試験前期、第4回目は一般入学試験後期です。学力低下が問題とされて久しいことから、今年度入学生58名の高等学校での理数教科の履修状況について触れ、簡単に今の臨床検査科学生の特徴について考察してみます。

さて、高等学校の数学ですが、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの6科目に大別されています。その中で標準的に学習するのは数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの4科目といわれています。本年度入学生において、標準的な数学4科目を履修したと答えた学生は54/58名(93%)、数学6科目をすべて履修したと答えた学生は27/58名(47%)でした。また、化学は化学ⅠBと化学Ⅱに大別されますが、化学ⅠBのみ履修したと答えた学生は50/58名(86%)、化学Ⅱまで履修したと答えた学生は36/58名(62%)でした。生物は生物ⅠBと生物Ⅱに大別されますが、生物ⅠBのみ履修したと答えた学生は45/58名(78%)、生物Ⅱまで履修したと答えた学生は25/58名(43%)でした。物理は物理ⅠBと物理Ⅱに大別されますが、物理ⅠBのみ履修したと答えた学生は16/58名(28%)、物理Ⅱまで履修したと答えた学生は10/58名(17%)でした。

以上の結果から、数学・化学・生物の履修率は非常に高く、物理の履修率は非常に低いことがわかります。なお、この調査から、高等学校から特別推薦および推薦された学生の平均履修科目は、一般入試前期または後期の平均履修科目数と比べ平均1～3教科少ないこともわかりました。つまり、結果的には高校から推薦された学生は学力を推薦されている訳ではないということになるのです。

ところで、実質的な問題は、履修率の低い学生が大学教育の中でどういう位置にいるかということです。入学後1～2ヶ月は、「高校で習っていないからわかりません」という学生の言葉に象徴される様に、高等学校で履修の有無と短大の講義の修得度とは正の相関がみられます。しかし、入学後3ヶ月ごろを過ぎるとその相関が薄らいでいきます。これは講義や演習・実習などの受講に際して、予習・復習を行っているか否かの差が徐々に現れてきます。

これは注目すべき点であり、実はとても当たり前のことなのですが、高等学校での理数系の履修教科数が低くても、短大入学後、講義に際して日々の予習・復習がある程度できれば、学生の知識レベルは上がっていき、引いては優秀な成績をおさめることが出来るということなのです。そして、結局のところ問題になるのは、自主学習ができない学生、または、やらない学生なのです。

これは、もうお分かりの様に入学試験の別、履修教科数には無関係です。他大学にも言えることですが、自主学習ができない学生をどう指導していくか、また、自主学習をやらない学生にどう動機づけしていくか、これが現在の短大教員の大きな命題となっています。

例えば、ある講義においては9/58名(16%)というデータもあります。自主学習ができない学生の多くは、入学して半年も経つというのに、相変わらず、「高校で習っていないからわかりません」という言葉にすがりついて、問題を転化している場合が少なくありません。このような学生のもつ虚無の砦を崩すのは容易ではありません。以前から様々な努力を行っていますが、目に見える成果がなかなか現れないのが、とても辛いところです。

したがって、問題の根本は学生の学力低下ではなく、むしろ、学生の学習意欲と実行力の高低なのです。

川崎医療短期大学では今年度より、一般のヒト、および、入学希望の高校生を対象として、公開講座を開催します。そして、8月2日(土)開催の第1回公開講座「糖尿病と臨床検査」、および、10月18日(土)開催予定の第2回公開講座「思春期貧血をめぐって」は臨床検査科主導で企画されました。

詳細については、順次、川崎医療短期大学ホームページ(i-modeにも対応)に掲載いたしますので、是非、ふるってご参加いただけたら幸いに存じます。

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/index.html>

(文責；所司睦文)

25期生同窓会 感想文

MT25期生
橋本 知恵



8月17日（土）、岡山駅の近くのイタリア料理店にて、25期生の同窓会を開催しました。皆にアンケートを募り、都合の良い日程を聞いてから日時を決めたからか、代表者2名を含む32名もの人が集まりました。しかし、私達の担任だった永瀬先生が、当日愛媛にある島に行かれていて、海が荒れて島から出られないということで、先生不在にてせざるを得なくなりました。（皆とても残念がっていましたので、また機会があるなら今度こそは絶対にいらして下さいね。）

拙い私の司会で会は始まったのですが、取り敢えずフリートークと料理で楽しんでもらいました。ちなみに料理はバイキングで、とてもおいしかったです。短大を卒業してからまだ3年目だからなのか、皆見た目も中身もほとんど変わっておらず、まるで検査科の教室にいるかのような雰囲気でした。

料理が少なくなってきた頃、ビンゴゲームを行いました。景品も何個か用意し、一番良い物はMDウォークマンにしました。また景品が当たった人には、近況報告をしてもらいました。現在どこで何の仕事をしているのか、検査科に入ってどうだったか等を質問しました。そしてまるで狙ったかの様に、一番良い景品が最後まで残りました。その景品を手に入れたのは、唯一出席者の中で結婚している人に当たりました。彼女は今年の5月に結婚したそうで、皆から彼女への良い結婚祝いになったのではないかと思います。

その後は、皆で集合写真を撮り、何年後かの再会を誓い、解散しました。

就職してから三年目、そろそろ仕事にも慣れてきた現在ですが、まだまだ色々大変な毎日です。学生時代の友人達に会うことで、楽しくそして辛かったあの頃に戻れた様で、とても懐しく、うれしく感じ、日々の疲れがいやされた様に思いました。今回は皆あまり変わってなかったけれど、次回会う時には風貌が変わっているかもしれないので、今からとても楽しみです。



26期生同窓会

磯合 美香

2003年1月25日～26日にかけて、第一回26期生同窓会が和気鶴飼谷温泉で行なわれました。

約半分（中には遠方から駆けつけてくれた人もいました）が集まって、普段言えない職場の話や近況、学生時代の思い出にひたり、楽しい2日間を過ごしました。

ほとんど、卒業以来会ったので短大時代を懐かしく思いました。

鶴飼谷温泉は、大自然に囲まれていて日頃の疲れを癒してくれる様な場所でした。

夜は宴会でゲームなどをして盛り上がって温泉で疲れをとり、次の日は陶芸をしました。皆、思い通りの作品ができたかどうかは…。出来上がりを楽しみに！！

皆、社会に出ていろいろな経験をしてたくましく、美しくなっていた様に思います。第二回はいつ開催するかは決まっていますが、また皆に会うのを楽しみにしています。



中四学会（徳島）での同窓会の報告

企画・学術部
見手倉久治



今年の9月28日、29日の両日、徳島県主催の第35回中国四国医学検査学会が行われました。その28日の学会終了後、7期生の岡本 浩さんが居酒屋『とくさん』で同窓会を企画してくださいました。13名の方に参加があり、昔話やら最近の話題など盛りだくさんで、和気あいあいとした同窓会でした。

来年は、岡山での開催です。是非皆さんこの同窓会に参加してください。

10年毎会費納入のお願い

臨床検査科支部同窓会では会運営のため卒業時と卒後10年毎に年会費を頂いております。しかしながら10年毎会費に関しましては対象会員様のすべてから回収できていないのが現状です。10年毎会費は5,000円となっております。(10年で5,000円、1年当たり500円とお考え下さい。)平成15年度現在、1期生から8期生までと、14期生から18期生までの会員様が10年毎会費納入の対象者となっております。尚、1期～8期生の会員様は20年分の会費として7,000円を徴収させて頂いておりますがご了承ください。臨床検査科支部同窓会では「ピペッツ」の発行をはじめ、各期同窓会への援助、短大生への国家試験対策講義、学生との交流をはかるためのボーリング大会と様々な活動を行っております。同窓会の円滑な運用のため、またすでに会費を支払って頂いている方がおられますので未納者の方には早急に会費を納入して頂きたく存じます。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〈振り込み方法〉

所定の振り込み用紙にて最寄りの郵便局からお振り込み下さい。

振り込み手数料はかかりません。郵便局のATMからでも可能です。

所定の振り込み用紙がない場合は、郵便局に備えてある振り込み用紙でも振り込み可能です。但し、この場合は手数料(窓口からは70円、ATMからは60円)は自己負担となります。

口座番号：01200－5－39659

加入者名：川崎医療短期大学臨床検査科同窓会

金 額：1期から8期生の方 7,000円

14期生以降の方 5,000円

※1 通信欄には必ずお名前(旧姓も)と何期生かを明記して下さい。

※2 銀行振り込みも可能ですが、この場合手数料は自己負担となります。ATMからも降り込み可能です。

中国銀行からお振り込みの場合で、窓口からは315円、ATMからは105円(カード)ないしは210円(現金)の手数料がかかります。

所定の振り込み用紙をご希望の方は同窓会担当者、あるいは各期代表者までお問い合わせ下さい。

〈問い合わせ先〉

川崎医大附属病院 中央検査部 心電図室 中務 二規子

TEL 086-462-1111(内82426)

E-mail ; tsukasa@med.kawasaki-m.ac.jp

平成15年度臨床検査科卒業予定者